

まんなかビジョン討論会（伊勢会場）開催結果の概要

1. 開催日時・会場

- ・ 日時 平成 14 年 11 月 9 日（土）13：30～15：30、晴れ
- ・ 会場 伊勢市観光会館 4階 大会議室 1， 2

2. 出演者構成

・ コーディネーター

渡辺 悌爾 （三重大学人文学部長）

・ 発言者

石川 順子 （伊勢市在住）

今村 発子 （度会郡小俣町在住）

奥山 壽一 （度会郡大宮町在住）

島田 佳代 （伊勢市在住）

高島 信彦 （松阪市在住）

谷口 徹 （鳥羽市在住）

寺本 稔 （志摩郡大王町在住）

中村 貴司 （伊勢市在住）

・ 行政側出演者

池田 豊人 （国土交通省中部地方整備局企画部企画調整官）

武田 一寧 （国土交通省中部運輸局企画振興部企画課長）

本多 隆志 （三重県南勢志摩県民局長）

・ 聴講者数

86 名（男性 71 名、女性 15 名）

・ 会場風景



3. 主な発言要旨

[私の考える地域づくりに関して]

- ・ 道路整備はともするとスピードを上げることが重要視されて、無機質で冷たい感じを受ける。地域づくりと一体となって、道路に「意味あい」、「味わい」、「物語性」を持たせ、みんなが愛する道路をつくるべきだ。
- ・ もっとNPOが育つべきだが十分に育っていない。地域通貨の導入やNPOを応援する企業に対する税制面の優遇策などを考えてはどうか。
- ・ 「まちづくり」に欠かせないのは「ひとづくり」であり、人のネットワークが重要。中部圏の中で、互いにまちづくりを盛り上げていくことができるとうい。
- ・ まちづくり活動では、「情報は早く、コミュニケーションは細かく」ということを心がけている。
- ・ 伊勢志摩地域を含む三重県南部は、災害が起きると陸の孤島となる恐れがある。地域で支え合う、助け合う関係をもう一度取り戻すべき。
- ・ 観光に力を入れたハード整備／ソフト整備が進められてきたが、住む人の視点が弱かったと感ずる。住む魅力がないところは訪れる人にとっても魅力がないはず。誇りを持って住むことができる地域づくりを目指すことが重要だ。
- ・ 観光という点では、散策できるまちづくりが重要。思わず、俳句を詠んでしまいたくなるようないい風景のあるまちにしていきたい。
- ・ 観光においては、リピーターをつくることが重要。日頃から「もてなしの心」を醸成していくことも大切。
- ・ 伊勢・志摩の風光明媚なものをPRするとともに、文化・芸術に通じる人を招くなど、1年を通して都会との交流を持ちながら地域づくりを進めていけるとよい。
- ・ ITを駆使して気軽に情報発信できるようになった。しかしそれだけでは不十分。人が訪れてはじめて賑わいが生まれる。そのためには、交通アクセスが快適でなくてはならない。

[まんなかビジョンへの期待]

- ・ 今後は、全国均等という考え方ではなく、中部圏というまとまりで道州制的な地域の自立を目指すべきだ。
- ・ 各地域が自分の住む地域について歴史を見つめ直し、特色を活かした地域づくりを進めていくべき。さらに、特色ある各拠点同士を結ぶネットワークを強化していくことが大切だ。
- ・ 周囲の自然環境に調和したやさしい道づくりや地域づくりを目指すことが大切だ。
- ・ 竹中大臣の言葉を借りれば、「伊勢志摩地域は観光特区になりうる地域」である。観光で外貨を稼ぐモデル地域を目指していったらどうか。
- ・ 津波対策や地震対策など災害に弱いところを見直すことが重要。大きな柱として、災害に強い地域づくりを目指してほしい。
- ・ 「まんなかビジョン」よりも「どまんなかビジョン」の方が、この地域が発信源だという迫力が出る。
- ・ 中南勢・（東紀州）というまとまりではなく、紀伊半島全体というまとまりで考えることも必要では。和歌山県と互いに連携し合える関係を築くことが重要となる。

4. 意向アンケート結果

会場にお越しいただいた方に対し「意向アンケート」を実施し、その場で、「中部の目指すべき方向（7つの目標）」について、中南勢・伊勢志摩・（東紀州地域）と中部地域全体のそれぞれの観点から最も重要と思われる項目について尋ね結果を発表した。結果は以下の通りである。

- ・ 中南勢・伊勢志摩・（東紀州地域）では、「Ⅴ.中部の豊かな自然環境、歴史、文化などの保全・再生・創出活用」が51票と過半数を占め最多数となった一方で、「Ⅱ名古屋の魅力向上と拠点都市のアップグレード」や「Ⅰ産業の国際競争力の強化」、「Ⅲ東海環状都市圏」については、得票数がわずかとなっている。
- ・ 一方、中部地域全体では、「Ⅳ.日本のまんなかである優位性を活かし、国土の東西・南北軸の再生や交流拠点整備による国内外交流の推進」が26票と最も多いが、「Ⅰ産業の国際競争力の強化」（16票）、「Ⅲ東海環状都市圏などの形成」（14票）といった中南勢・伊勢志摩・（東紀州地域）では得票の少なかった項目に得票が分散している。
- ・ 「Ⅶ.東海地震をはじめとした災害に強い安全・安心な地域づくり」については、中南勢・伊勢志摩・（東紀州地域）で11票、中部地域全体でも14票を得ており、地域共通の重点課題という意識が見られる。

〔意向アンケート得票数〕

